

(軌道)

項目	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	198,773	198,518	209,483
人キロ(千)	2,162,335	2,203,550	2,317,071
貨物輸送トン数(千t)	2	1	—
トンキロ(千)	40	—	—
旅客収入(千円)	2,668,168	2,641,370	2,750,704
貨物収入(〃)	2,703	1,204	—
運輸雑収(〃)	42,374	54,862	71,588
収入合計(〃)	2,713,245	2,697,436	2,822,291
営業費(〃)	2,261,754	2,317,491	2,464,417
営業利益(〃)	451,492	379,945	357,874
営業係数(%)	83	86	84

3 地方鉄道線(下表)

(同上未成線) 京都・河原町間 1.9 km, 昭和 2・10・18 免許, 工事施行未認可。

4 軌道線(下表)

(同上未成線)

区間	キロ程	動力	軌間	免許年月日	備考
	km		m		
伊丹・宝塚	7.2	電気	1.435	大13・5・19	工事施行未認可
塚口・尼ヶ崎	3.8	〃	〃		
北野・長柄運河	0.5	〃	〃	昭 3・5・10	〃
神崎川・曾根	4.0	〃	〃	昭23・4・19	〃

5 車両の特長

複電圧車両 異電圧区間相互に使用可能, 京都本線(1500V)と神戸本線(600V)を通じて京都・神戸間の直通運転を行っている。

6 沿線の観光地

京都(京都駅), 嵐山(嵐山駅), 六甲山(六甲駅)。(原 功) けいびがかり 警備掛 駅におかれる職で駅長の指揮をうけて荷物積載車の防護監視, 停留車の封印・積荷・車票の異状の有無の点検, 留置および保管荷物の防護監視, 構内通行者の取締等に従事するものである。警備掛養成のための講習会を修了したもの, または警備掛採用試験に合格したものから採用する。(加藤誠次郎)

げいびせん 芸備線 伯備線備中神代駅から三次盆地を経て山(地方鉄道)

国鉄連絡線	線名	区間	キロ程	単複線別	動力	軌間	免許年月日	運輸開始年月日	営業の種別	摘要
			km			m				
大阪	京都本線	天神橋・京都	42.4	複	電気	1.435	大正 5・9・1より " 12・6・18まで	大正14・10・15より 昭和 6・3・31まで	旅客・貨物	
	十三線	淡路・十三	4.2	〃	〃	〃	大正 8・9・12	大正10・4・1	〃	
	千里山線	淡路・千里山	5.1	〃	〃	〃	大正 5・9・1	大正10・10・26	〃	
	嵐山線	桂・嵐山	4.1	単	〃	〃	大正13・5・13	昭和 3・11・9	〃	

(軌道)

国鉄連絡線	線名	区間	キロ程	単複線別	動力	軌間	特許年月日	運輸開始年月日	営業の種別	摘要	
			km			m					
大阪	神戸本線	梅田・神戸	32.5	複	電気	1.435	明治45・7・25より 大正11・6・8まで	大正 9・7・16より 昭和 9・7・16まで	旅客	梅田・十三間(高架)	
	今津線	宝塚・今津	9.6	〃	〃	〃	明治39・12・22	大正10・9・2 " 11・4・1	〃	新設	
	伊丹線	塚口・伊丹	2.9	〃	〃	〃	大正 6・12・26	大正 9・7・16 " 15・12・18	〃	〃	
	甲陽線	夙川・甲陽園	2.2	単	〃	〃	大正12・6・5	大正13・10・1	〃	〃	
	宝塚本線	梅田・宝塚	24.8	複	〃	〃	明治39・12・22	明治43・3・10	〃	〃	
	箕面線	石橋・箕面	4.0	〃	〃	〃			〃	〃	〃
	北野線	梅田・北野	0.8	〃	〃	〃			〃	〃	併用中

陽本線広島駅に至る 159.1kmの線。山陽線に属し線路等級は丙線である。

備中神代・備後落合間は三神線, 備後十日市・備後落合間は庄原線として建設, 昭和 10・12 両線全通, 昭和 12・7 芸備鉄道株式会社社線備後十日市・広島間を買収し, 備中神代・広島間をその経過地安芸(あき)国, 備中(びっちゅう)国の頭文字をとり芸備線と呼ぶこととした。(森 寿芳)

けいひんきゅうこうでんてつ 京浜急行電鉄

1 事業者の概要

名称 京浜急行電鉄株式会社, 本社 東京都港区芝高輪南町,

資本金 60,000万

円, おもな事業 地方鉄道・軌道業のほか一般乗合旅客自動車運送事業路線 260 km, 自動車道事業, 土地建物の売買賃貸業および広告取扱業。鉄道軌道従業員 2,388 人, 保有車両電動客車 124, 客車 58, 貨車 17 両。

沿革 川崎大師参詣客の輸送を目的として明治 30・8 京浜川崎・川崎大師間の免許を受け, 同 31・2 大師電気鉄道株式会社を設立し, 同 32・1 営業開始した。その後東西品川, 横浜への延長線建設をくろみ, 明治 33・4 社名を京浜電気鉄道株式会社と改め, 昭和 6・12 には品川・日の出町(横浜市)間が全通した。昭和 16・11

